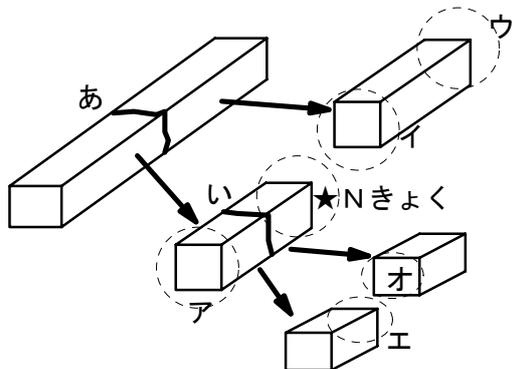


評価問題例

ぼうじしゃくを、「あ」のところで、2つにおりました。★のところのきょくをしらべると、Nきょくでした。次の問いに答えなさい。



(1) ア、イ、ウは、それぞれ、なにきょくですか。

ア []

イ []

ウ []

(2) そのように答えたわけを書きなさい。

[]

(3) エ、オは、それぞれ、なにきょくになりますか。

エ []

オ []

棒磁石を折ったときの極性についての課題であるが、常にS極、N極が存在すること、S極だけ、N極だけの磁石は存在しないこと、一般にS極の反対側がN極になること等の知識を問う。同時に自らの考え方を論述する力を評価する。

評価問題のポイント

評価問題シートはこちら [CLICK](#)

本単元では、大きく分けて、磁石を使って「もの」の性質を探る学習、磁石そのものの性質を探る学習に分かれる。この評価問題は、磁石の性質についての知識を最終的に問うものである。

本評価問題は、「棒磁石を2回折る」ところに特徴がある。1回折っても棒磁石の形となっており、単元構成から考えて、迷うことの少ない問題である。これを、もう一度折ることにより、知識の定着度や確実性ととも、知識を活用して考える力を評価しようとしている。

1度折った棒磁石をさらにもう1度折ると、立方体に近い形になる。このような状況の中で、これまでの学習経験を活用し、正しい結論に至ることができるかどうかがこの評価問題のポイントである。